

Deep
な
COOP

能登半島地震から2年 これまでも、これから

能登半島地震から2年を迎えました。コープいしかわは、職員と組合員の温かいつながりに、復興の道のりをともに歩んできました。



輪島市町野町にお住いの組合員 山下さんと、のと北部センター 奥井 翔太さん（輪島・門前地域を担当）

元気になってほしい

「配送の時、組合員さんと地震や豪雨の話はあえてすることはないです。それよりもおいしいものの話とかをして元気になってほしいと思っています」と話す奥井さん。奥井さんが輪島市町野町の地域担当者になったのは震災直後の2024年2月でした。当時は全国各地の生協からの支援職員やコープいしかわの職員が同乗して、2人体制での配送をしていました。初めてまわる配送コースでは、支援職員とまず組合員のお宅を探し、お会いできた方にはカイロや水などのお見舞い品と共に生協の宅配が再開していることをお伝えしました。

「これで楽になる」

「しゃべりやすいし、誠実な雰囲気大好きです」。町野町でコープの宅配を利用する組合員 山下さんは、毎週配達に来る奥井さんの印象をそう答えてくれました。「地震の後、コープの宅配を再開して、これでちょっと楽になるなあと思ったのを覚えています」と山下さん。「あの時と比べれば道は、大分よくなりましたね」と二人は振り返ります。「町野は過疎地なので買い物が不便ですから、本当に生協の配達は大変だと思います。助かるなあみんな思っていますよ」「さばの一夜干しもよく買われていますよね」と奥井さん。「生協さんのさば、おいしいですよ」と会話がが続いていきます。



土砂や流木を越えて

2024年9月に発生した奥能登豪雨。発生翌々日の月曜日、奥井さんは安全に配慮しながらも行ける所までは行こうと町野町へ向かいました。田んぼや道路を覆う泥や流木。一変した景色に言葉を失いながらも、この商品を必要としている方に届けたいという思いでまわりました。土砂でふさがれ車で入れない所は迂回したり、トラックを止めて歩いて運んだりして、配送を終えセンターに帰着したのは19時を過ぎていました。2025年11月に訪れた町野の風景は、公費解体が進んで空き地も多く、豪雨で流れ込んだ土砂を田んぼから取り除く工事や生活道路を修復する工事があちらこちらで見られました。



暮らしを見守る

町野町の仮設住宅にも奥井さんを待っている組合員さんがいます。仮設住宅団地にトラックを停めて荷降ろしの準備をしている奥井さんのところに、「これから出かけるから、荷物は玄関先の箱に入れておいてくれる？」と伝えに来た組合員さんがいました。奥井さんといくつか会話をし、組合員さんがトラックを後に歩き始めた時、奥井さんが荷台から顔を出して声をかけました。「寒くなったし体に気をつけてねー」「お互いにね！ありがとう」と返す組合員さん。日々の配達で行われるささやかなやりとりが、お互いの支えになっています。

負けとられん！
能登を笑顔に

声で振り返る2年目の支援

たすけあいの組織です
コープは

コープみらい・コープデリ連合会から3名の職員が支援のため出向しています。2024年に続き、第2期の出向者3名が奥能登地域で配送をしています。

能登に来て思うこと

妻の実家が輪島という縁もあり、「能登のために何かできないか」という思いを胸に、1年間の出向を決意しました。能登では目印や信号が少なく、道を覚えるのに1カ月を要するなど、当初は慣れない環境に驚きました。しかし、能登に来て何よりも心打たれたのは、組合員さんの温かさです。「来てくれてありがとう」という言葉と心尽くしのもてなしに、日々励まされています。残り半年、まだお話しできていない組合員さんとも交流し、能登のすてきなところやおいしい食べ物などをさらに知りたいです。組合員さんの優しさが詰まった能登での経験は、私にとってかけがえのない宝です。この温もりを力に、これからも能登の復興と活気ある未来を応援し、組合員さんに寄り添った配送を続けていきます。



河村 友一さん
コープみらいで宅配運営部 管理トレーナーを担当。2025年4月からのと北部センターに配属。能登町の宇出津・鶴川地域を担当。

全国各地の10生協が能登の組合員とその家族を招待する旅企画を実施しています。

能登に心を寄せてくれている

震災から2年がたとうとしている今も能登に心を寄せていただいていること本当に感謝しています。娘に「愛媛県の生協の人たちが震災にあった人たちを元気付けるために招待してくれたんだよ」と伝えると、「だから欲しいものいっぱい買って人力車も乗ってんね！」と言っていました（笑）。お土産に購入した砥部焼の箸置きと絵付けしたお皿で愛媛を思い出しながらこれからも頑張っています。コープえひめ主催「道後温泉でリフレッシュ！☆歴史・文化・生物多様性☆体験旅」参加者の感想 志賀町 A.Kさん



蛇口からみかんジュースが出てきたよ

つな♡のと旅企画で
他県のコープの
優しさにふれました

奈良が大好きに

一番印象に残ったのは、かわいい鹿です。特別に大仏さまに触れたのもうれしく、今回の旅行で奈良が大好きになりました。羽昨市 K.Nさん（中学1年生）

ならコープ主催「ならで大仏さんと鹿さんに会おう！」参加者の感想



七尾市 K.Nさん（小学3年生）

能登の暮らしと地域の復興を支援する10団体に助成しています。

助成金でできたこと

2024年のゴールデンウィーク前に「能登の人はこの時期の祭りを楽しみにしていただろうに」と思ったことがきっかけで、勤務先で「能登に元気と笑顔を」と呼びかけ、縁日ボランティア「スマイルフォース」（笑顔の効力）を結成しました。自分たちの活動資金では継続は難しいとクラウドファンディングを立ち上げた時に、コープさんの助成金を受けることになり、縁日の景品代に使うことができました。縁日会場に残された「楽しかったです」や「久しぶりに笑顔になりました」のメッセージはコープさんの支援のおかげです。ありがとうございます。がんばれ能登！スマイルフォース 代表 西澤 寿裕さん



地域とともに

ご招待
人気の収穫体験企画に

全国から寄せられた募金を使ってとうもろこし狩りや五郎島金時掘りなど人気の収穫体験に能登の家族を招待しています。

とても貴重な体験です

普段はスーパーで買った野菜を使っているのに土に触ったり野菜を収穫したりしたことがない子どもにとって、とても貴重な体験になりました。バスで行こう！中本さんのレタス・小松菜収穫体験 能登からの参加者の感想



能登エリア発着のバスを運行



鎌を使って新鮮な小松菜を収穫できたよ

震災以降、コープいしかわは、さまざまなつながりの中で事業や活動を通して能登の暮らしに寄り添ってきました。震災と豪雨を経験した能登では、少しずつ進む復興の中で日常を取り戻そうとする暮らしがあります。能登の復興にはこれからも継続的な支援が必要です。これからもコープいしかわは、「負けとられん！能登を笑顔に」を合言葉に日常を取り戻すその日まで、地域と共に歩む支援を継続していきます。